（動物実験責任者→動物実験委員会委員長）　　　　　 昭和薬科大学動物実験委員会（様式I）

（西暦）年　月　日

|  |
| --- |
| **動物実験における有害物質使用許可申請書はコピーをとり、当該年度の「様式A 動物実験計画書（新規）」または「様式B 動物実験継続申請書」と併せて、従事者全員が一部ずつ保管して下さい。** |

動物実験における有害物質使用許可申請書

昭和薬科大学　動物実験委員会　委員長　殿

申請者（実験動物管理者[主任教員]）

|  |  |
| --- | --- |
| 所属 |  |
| 職名 |  |
| 氏名 |  |
| 緊急連絡先 |  |

 ※押印不要(ただし、主任教員より動物実験委員会メールアドレスに送付すること)

承認済の動物実験計画書に基づき、下記の「有害物質使用実験」を申請いたします。

記

|  |  |
| --- | --- |
| 動物実験計画書承認番号 |  |
| 研究課題名 |  |
| 種類 | [ ]  感染実験　　[ ]  発ガン・毒性実験　　[ ]  放射性同位元素・放射線使用実験 |
| 実験従事者 | [ ] 「様式A 動物実験計画書(新規)」or「様式B 動物実験継続申請書」に記載有 |

[投与物質名・分子量・性状：外界(温度・pH・光など)での安定性(文献など出典を具体的に引用する)]

|  |
| --- |
|  |

[人体に対する毒性･発がん性のIARCの評価：該当する番号にチェック。４の場合は、説明する]

|  |
| --- |
| [ ]  1.グループ1（発がん性がある）[ ]  2.グループ2A（おそらく発がん性がある）[ ]  3.グループ2B（発がん性があるかもしれない） |
| [ ]  4.その他　 |  |

[実験目的（実験・実験期間・使用する動物種・匹数についての必要性を具体的に記載する）]

|  |
| --- |
|  |

[実験動物]

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 種： |  | 系統： |  | 性： |  | 体重(週齢) |  |
| 最大使用数： |  | ケージ数： |  | 使用場所： |  |

[飼育期間(予定)]

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 西暦年月日 |  | ～ |  |

[投与期間(予定)]

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 西暦年月日 |  | ～ |  |

[投与方法・頻度・総投与量]

|  |
| --- |
|  |

[投与した有害物質の動物体内での代謝・排泄・蓄積等、飼育室・飼育ケージ内での有害物質の蓄積有無]

|  |
| --- |
|  |

[本実験における安全性・安全対策について(具体的に)]

|  |
| --- |
| 従事者等が発がん物質等危険物質に暴露されないようにするための防護対策（例：手袋、マスク、防護メガネ等の着用等） |
|  |
| 従事者等が発がん物質等危険物質に暴露した場合の対処方法 |
|  |
| 飼育室及び実験室の汚染防止策および汚染された場合の対処方法 |
|  |
| ヒト、動物や周辺環境への影響 |
|  |
| 動物死体、廃棄物等の処理方法 |
|  |

|  |  |
| --- | --- |
| 動物実験委員会記入欄 | 本申請書に対する委員会の見解　　　　 |
| [ ] 　1.許可する[ ] 　2.修正して許可する[ ] 　3.許可しない |
| 許可しない場合の理由　 |  |
| 許可年月日（西暦） |  |
| 本申請を許可する。　　　　　　 |
| 有害物質使用許可番号(動物実験計画書承認番号よりアルファベットを取る) |  |